校長室から

令和３年５月日

No. 2

今回は、キャリア教育についてご紹介します。

【キャリアパスポートって何だろう？】

昭島市教育委員会では、本年度から**「キャリアルバム」**というものを作成し、全小中学校で取り組んでいます。一般的には「キャリアパスポート」と呼ばれるもので、全国どの学校でも昨年度から取り組みが始まっています。光華小学校でも、昨年度は本校独自の「キャリアパスポート」を作成し、試行してきました。

「キャリアパスポート」とは、小学校の１年生から高校の３年生までの１２年間のキャリア教育の記録という意味があります。一体どんなことを記録するのでしょうか？

その前に、この基となる「キャリア教育」について、少々説明する必要があります。

【キャリア教育って何だろう？】

みなさんが「キャリア」という言葉を聞くとイメージされるのが、「仕事の経歴」や「専門技能」だと思います。だから、「職業意識を高める教育」と思われるでしょう。まさにその通りです。しかし、**いきなり小学生に職業意識を育てることには難しさがあります。**

文部科学省ではキャリア教育のことを、「**一人一人の社会的・職業的自立に向け，必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して，キャリア発達を促す教育**」と定義しています。そしてさらに詳しく以下のように説明しています。

「キャリア」とは

個々人が生涯にわたって遂行する様々な立場や役割の連鎖及びその過程における自己と働くこととの関係付けや価値付けの累積

【もう少し具体的に言うと】

子供は家庭において「息子や娘」地域では「スポーツチームの一員」学校では「３年生」という立場がある。また、クラスでは「飼育係」という役割がありその役割を果たしている。このような**「立場や役割」に、現在どのように取り組んでいるか、それを踏まえて将来の役割（上級生になったら）にどのように取り組んでいきたいか、その時々で立場や役割の重要性を自ら判断し、積極的に取り組めるように、一人一人の成長・発達を支援することがキャリア教育**

＜国立教育政策研究所生徒指導研究センター　平成２１年３月リーフレットより＞

ですから、**「小学校におけるキャリア教育の目標」は、以下のようになります。**

○　自己及び他者への積極的関心の形成・発展
○　身の回りの仕事や環境への関心・意欲の向上
○　夢や希望、憧れる自己イメージの獲得
○　勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の育成

もう少し具体的にいうと、

【低学年】「好きなことといっぱい　できることといっぱい　学校って楽しいな」
自分の好きなこと、得意なこと、できることを増やし、様々な活動への興味・関心を高めながら、意欲と自信を持つように活動できるようにする

【中学年】「自分と　友達と　みんな　いっしょに」
友達のよさを認め、協力して活動する中で、自分の持ち味や役割を自覚することができるようにする

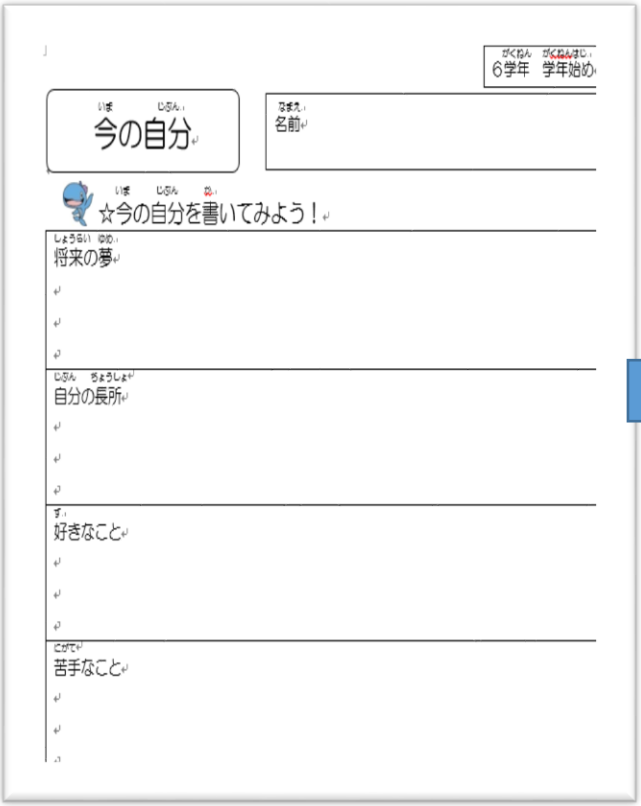
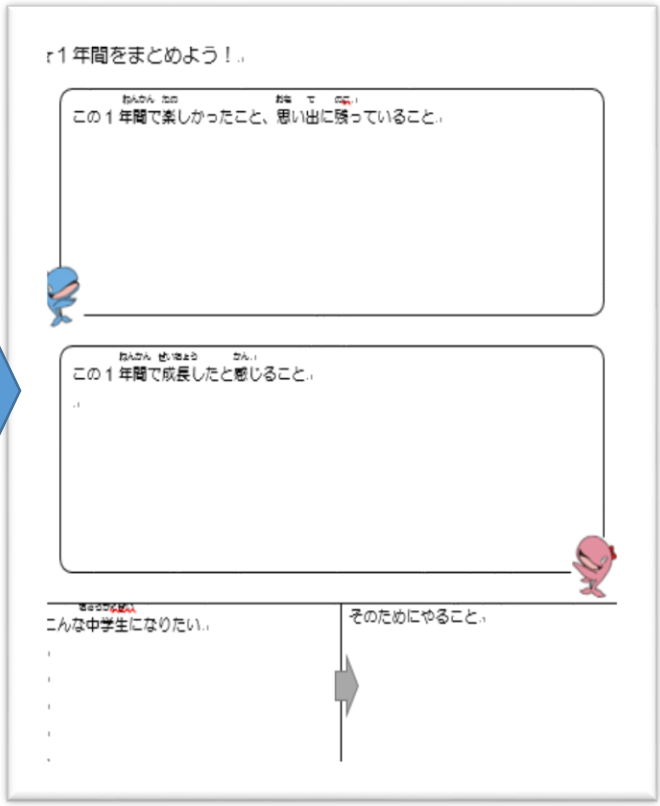
【高学年】「挑戦する　やりぬく　夢・希望を広げる」
苦手なことや初めて経験することに失敗を恐れず取り組み、そのことが集団の中で役立つ喜びや自分への自信につながるようにする

つまり、「**社会の中で自分の役割を果たしながら，自分らしい生き方を実現していくための準備をしていこう**」ということです。

【キャリアパスポートでは、何を記録しているのか？】

○　６年生のキャリアルバムの一部

＜学年のはじめ＞



＜学年の終わり＞